

会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回茨木市特別職報酬等審議会
開催日時	令和3年10月4日(月) 午後4時 開会 午後5時 閉会
開催場所	市役所南館10階 大会議室
会 長	北村 亘
出席者	角谷 伸一郎、對馬 大平、大江 博子、北村 亘、山下 克之、佐名川 玲子、篠原 一代、藤村 保夫【8人】
欠席者	なし
市	福岡市長、河井副市長、井上副市長
事務局職員	森岡総務部長、東人事課長、竹内人事課長代理、中山給与厚生係長、武市職員 【5人】
開催形態	公開
議題(案件)	市議会議員の議員報酬の額及び政務活動費の額並びに市長及び副市長の給料の額について

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
北村会長	<p>[開会] [各委員紹介] [茨木市特別職報酬等審議会規則の概要説明] [会長、副会長選出（北村会長、藤村副会長）] [市議会議員の議員報酬の額及び政務活動費の額並びに市長及び副市長の給料の額について諮問]</p> <p>[会議の公開・非公開の決定] それでは、ただいまから審議に入りたいと存じます。 まず、審議会の運営に関し、本審議会及び会議録を公開にするのか、非公開にするのかを、皆さんにお諮りしたいと思います。 まず、事務局から審議会の公開についての説明を求めたいと思います。</p>
事務局	<p>それでは、事務局から審議会の公開等についてご説明申し上げます。 本市では、「茨木市審議会等の会議の公開に関する指針」に基づきまして、審議会等の会議は、個人に関する情報を審議する場合などを除き、公開を原則として、審議会等に諮った上で決定することとしております。 本会議においては、傍聴者の方にも最初から入室していただいております、非公開情報を含む案件が生じ、非公開と判断された場合に退室していただくものとしたと考えております。 また、会議録につきましても、全部筆記とし、発言者の個人名も含めて公開させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
北村会長	<p>ただ今、事務局から会議の公開についての説明がありました。今後、非公開とすべき案件が発生したときには、皆様にお諮りし、会議の非公開を決定することとして、それまでは、原則に則り会議は公開といたしまして、会議録につきましても公開することとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。</p> <p>《 異議なし 》</p>
北村会長	<p>それでは、本審議会を原則公開といたします。 続きまして、審議に先立ち、頂戴しております関係資料について事務局より説明をしてください。</p>
事務局	<p>[資料説明]</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
北村会長	<p>事務局から、詳細な資料の説明、提供がございました。私が要約するというものはないかとは思いますが、市長・副市長の給料というのは、まず本審議会の答申を受けて減額をするか、自主的に減額をするかという2通りのやり方があるわけですが、市長・副市長に関しては、独自の減額措置を取っておられ、そして現在終了しているということです。市長の現在の給料としては、98万3千円、副市長が85万8千円となっているところであります。</p> <p>議員も同じように減額改定され、条例上の金額があります。ただし、それにさらに自主的に減額措置をされているわけでありまして。政務活動費につきましても、同じように減額改定をされているということになっております。</p> <p>皆さんとあと何回かで議論していきたいのが、この特別職の報酬や政務活動費の額についてです。茨木市は、人口28万人ぐらいの規模で、財政規模が1千3百億円弱の規模で、財政力は0.97くらい、要するに財政状況は良いと思います。ただし、94.1%という経常収支比率を見ていただいたら分かる通り、硬直化はある程度している、というような組織において、マネジメントをする人に対する報酬として、はたしてどれぐらいの金額が妥当であるか、ということと皆さんと議論していくということになるかと思っております。この資料を皆さんと眺めながら、妥当なところを検討したいと思っております。安ければいいというものではなく、有能な人が選べなくなるということも困ります。また、選挙の手段で勝手に安くしてアピールするということもされても困る。逆に、どんどんお給料を上げていくということがあっても困るということで、そのバランスを考えていかなければいけません。</p> <p>事務局にここで確認しておきたいことですが、会議の回数は何回ぐらいの予定でしょうか。</p>
事務局	<p>本日を含めまして、全部で4回開催させていただきたいと考えております。</p>
北村会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>では本日を含めて4回で、先ほどの諮問にあるように、答申する必要がございます。ですので、非常に丁寧にもしないといけません、ゆっくり急がないといけないというような状態になっておりますので、皆さんの忌憚のないご意見をこれからいただきたいと思っております。これから4回ということですので、第1回目の会議では、先ほどあった資</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>料について、ご意見・ご質問を伺いたいと思います。そして、是非とも今日お持ち帰りいただいて、ご覧いただき、もう一度丁寧に、第2回目の会議の時に皆さんからご意見をいただきたいと思っております。第3回では、議論をここで行っていきたい。いろいろな考え方が出て当然です。人格的な対立にならない程度に、激しい議論があってもいいと思っておりますので、皆さんのご意見を伺いたいと思っております。そして最後に、第4回目の会議で、今までの議論を受けたものを基に、答申案をご用意させていただきますので、その4回目で皆さんにもう一度チェックをしていただき、審議をしていただきたいと考えております。このような進め方でよろしいでしょうか。本日第1回目は資料について、2回目及び3回目でご議論をいただき、4回目で答申案を皆さんで議論をされる形で良いものにしていく、改善をしていくという形にしたいと思っております。このような進め方で、特にご異議はございませんでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">《 異議なし 》</p> <p>ありがとうございます。ではそのような形で進めていきたいと思っております。それでは、第1回目でございますので先ほど申し上げたとおり、資料に関して、ご意見やご質問についてお伺いしたいと思います。いかがでしょうか。</p>
角谷委員	<p>資料の8において、時限で減額されている市については、ひとつ理由として選挙公約が頭に浮かぶのですが、全てそのケースでしょうか、という1点。それからもう1点、手続きですが、答申をして、あと次は条例改正とかいろいろあると思いますけれども、実施まではどのような手続きになるのか。</p>
北村会長	<p>よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>減額の理由につきましては、自治体によっても様々ありますけれども、今言われたように市長の公約、選挙のときの公約もありましたが、例えば、新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う自主減額、また自治体によりましては、行政改革の一環として、また住民サービス拡充を図るため、同じ意味にはなりますけれども、また自治体によりましては財政状況を考慮して、財政難のためというものが主な理由となっております。</p> <p>また、手続きについてでございますけれども、答申をいただきましてから、実際条例改定というところになります、議会に提案をいたしまして、</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
北村会長	<p>可決をされれば条例改定を行って金額の改定を行う、そういう流れになっております。</p> <p>ありがとうございます。ちなみに、私個人から見て茨木市の良いところが、数年おきにこの給料の見直しをされているところです。実はこれは他市ではないことです。先ほど1回は見送られたという説明がありましたが、概ね2年半から3年くらいでやっておられます。これはとても良いことで、やっていないところが結構ありまして、真面目な市という印象を非常に強く受けております。この点は、茨木市民の方は誇りに思っていたとしてもいいところではないかと、普段見直しをされているということで。他のところでは、財政非常事態宣言などを出される場所もあり、今回コロナ以前でも、それによりカットされたりする自治体はありました。私もお手伝いしたことがあるのでよく存じているのですが、そういうところもあります。</p> <p>減額理由については、市長の公約ももちろんあります。ただ、どれぐらいの減額効果があるのかということも議論をしたほうがよい問題であり、市民が潤うかといったら潤う額ではございません。ただし、市民がそれで納得感を求められる場合は、それは意味のあることですので、そこは政治的な世界として切り離して考えていただいて結構かと存じます。他いかがでしょうか。</p>
篠原委員	<p>初めてこのような審議会に参加させていただいています。各市の市長並びに議員が、それぞれ減額をされており、短期的、時限的に何回か繰り返してされる状況がありつつ、本則は変えないという流れがずっと各市で続いていると思いますが、このように2年おき3年おきという形で見直し、社会情勢などを見ていくのであれば、定期的な見直しとともに、そのような時限措置を行う必要があるのかどうかというところが、まだよく分かりません。ですので、現行のものと減額されたときの数値が示されておりますが、例えば市長の給料に関しましても、減額前であれば14位、どちらかといえば人口規模でいえば少ないのではないかと思われるような数値がありつつも、減額後の比較になると一気に上がってくることを見ると、どのように判断したらいいのかというところが非常に見えにくくなっていると思います。</p>
北村会長	<p>ありがとうございます。事務局としてお答えがありましたら、お願いします。そのあとは私から、個人の考えとして申し上げたいと思います。</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	<p>本則を減額する、または時限的な減額措置、いろいろな方法を各市がとっておられます。私どもも事務局としていろいろな資料を見ている中で、順位に目が行きだすと、順位ばかり見て、お互いが順位を気にしてしまうようになってしまうということが、はたして正しいことなのかということは、感じているところです。金額についても、大きな差の開きがある場合もあれば、ほとんど差がなくても順位は変わってまいりますので、そのため、このような形で正確な資料を審議会の委員の皆さまにお示しをして、そこで何らかの検討、審議をしていただく、そのような仕組み自体が必要であると考えております。</p>
北村会長	<p>私たち自身は、ここでの議論というのは、やはり条例ベースのもので議論したほうがいいと思います。何故かといいますと、自主的に減額されるということまで見込んで、我々が議論することはできないためです。どなたが市長をされても、政務を行われるということに対して、適切な報酬を考える。個人的に減額されるのはご自由です。政治的なパフォーマンスがあるかは分かりませんが、我々はこの茨木市を運営していただくにあたり、やはりこれぐらいが適切というものは条例で定めている、だからそれは貰う権利がありますよ、というところを我々が議論することが本筋ではないかと思っています。よって、実態を見つつ、やはり条例としてどこが妥当なのかということを見ていただくほうがいいのではないかと私個人は思っているところです。ほかの委員の方いかがでしょうか。</p>
對馬委員	<p>公的なミーティングは初めて参加しています。見ていると、ずっと減額となっていると思います。やはり、普通民間であれば非常にショックを受けるというか、やる気を失うような感じだと思います。議会の給料も、過去ホームページを見ていたのですが、減額の仕方がやはり横になびいている、他のところがこうだからこうだというような、どちらかというところが公的なところの考え方で、今回そのような感じで決まってしまうのは非常に残念なので、1点私からご提案をしたいなど。やはり民間と比較するわけにはいかないと思います。民間は利益を出して、出したところが大きく変わる。ただ、やはりこの特別職の方たちというのは、選挙で選ばれている。副市長は別ですけれども、議員もそうですし、身分を保証されているわけではないので、やはり報酬の中に必要なのはそういう方が、例えば選挙で約束した、1年間どういうことをやってきたか、どういう結果を出したかというところを、報酬として反映させたほうがいいと思います。資料を過去全部見たんですけれど、よく分からないんですね。市長や議員が1年間頑張ったのに、横並びで給料が下がっている、こんなに頑張ったの</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
北村会長	<p>にと、そういう意味では、可能であれば、議員や市長がどのような仕事をやってきて、どういう結果を出したかということは、ここに資料があると、それが一番ではないかと思います。以上です。</p> <p>ありがとうございます。大変重要なお指摘であると思います。他市でも、数年前やったときにも、同じ議論が出てきまして、やはり民間企業と同様の決定方法はとれませんが、評価する基準はあるだろうと。市長として議員として、いきなり総生産が上がっているのであれば、それはこの地域に富をもたらしたのではないかとか、財政の硬直化についても、全体の予算の中で使い道が決まってしまって自由にならない予算の部分が多くなると苦しくなっていくのですが、この部分に余白を生み出したら、市長としたら立派じゃないですかというような議論など、やはり同じような議論がありました。</p> <p>あとは議員であれば、条例案を制定するにあたって立法効率性という議論ですが、どれくらいの時間、会期の間で作ったのかとか、それだけを見たら後で問題になりますが、いろいろな指標があるのではないかという議論は当然出ておりました。とは言いながら、他方で今もお指摘があったように、横並び、1位になりたくない、ランキングで1・2・3というのはできるだけ避けたいということは、ものすごく強いです。民間企業でもそうでした。カルロス・ゴーン氏の最後の給与も10億は出たくないということもありました。というように、やはり報酬をいくら貰っているかということタブー視して議論してきたということは、残念ながらあったと思います。茨木市では、今から4回やっていきますが、最後はどのような答申になっているか分かりません。私自身も今白紙ですが、やはり虚心坦懐に、公務員、特別職だから、削ればいい、安ければいいとか、1位は避けたいとか、最初からそのレベルで議論をするのはやめたいと思っているところでございます。</p> <p>山下先生、企業などのことをご存じだと思うので、もし何かご意見あればお聴かせいただきたいです。</p>
山下委員	<p>やはりこの場合、人材の供給ということから考えますと、私も企業で働いておりましたが、身分保障もない中で、市民のうち多くの方が民間企業に勤められている中で、大企業であれば1千万くらいの年収を断ち切ってまで、市議や市長選挙に出られるかということ、現実問題ではやはりそこは出られないです。出てくる人は若いうちから弁護士や会計士などの資格を取り、身分保障をした上で出るか、もしくは2世・3世議員、資産家、配偶者が働いていて政治的意識が高い方くらいしか出られません。現実問題</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>として、ある程度の金銭的余裕があり、教育を受けてきた人間が出られるかということ、やはり出られない。</p> <p>前置きが長くなりましたが、そういった人材という意味で考えると、他の市町村との比較は置いておいて、やはり逆にもう少し高くないと。ある意味政治的な水準を示すのであれば、条例としてあるべき給料形態を示すのであれば、そこは高いほうがいいのではないかと。そうでなければ、政治オタクか、もしくは資産家か暇人しか政治をやらないような現状になるのではないかという危惧があります。あまり他市の動向ということではなくて、人材ということで考える1つの視点も大切かと。デフレ下ですから下げるといふことはありえないでしょうし、民間企業自体、報酬が相当上がってきていますので、デフレ下でも。同じ話になりますが、市長や副市長の給与水準自体が一定水準以上でない。</p>
北村会長	<p>ありがとうございます。いろいろなご意見をまずは伺いたいと思いますので、突然全員指名のような形で大変恐縮ですが、大江先生、ご意見いただけませんかでしょうか。</p>
大江委員	<p>全体的に資料を見せていただきますと、総額で書かれている資料が少なく、個別の月額などの資料は豊富ですけれども、もう少し議員の総数とか、議員報酬の総額、議員の数まで考えた報酬も考慮するほうがいいのではないかと思います。以上です。</p>
北村会長	<p>ありがとうございます。藤村副会頭、いかがでしょうか。</p>
藤村副会長	<p>なかなか難しい問題だなと思っているのですが、こういう議論をする、公開でやるということも大変重要なことでもあるとよく分かりました。ただ、今日いろいろ丁寧にお作りいただいた資料を見ても、今のポジションがどうであるかなどが丹念にまとめられているんですけども、それは対象となっている特別職の方々の業績や業務を反映しているわけではないというところが不思議に思いました。どうしても民間出身なものですから、民間ですとその方々の顔を浮かべて仕事を見ながらどう評価するかということと収入が変わってくるのですが、そういうことはない。要するに、正しく評価されていないという状況は、本当にいいのかと。先ほどおっしゃったように、そういう形で議論を進めていくというのは非常に難しいのだろう。ただ、今ここで決めなければいけないことは、目標管理制度をしましょうという話ではないと思います。その中でも例えば税収であるとか、そのような何かの指標を見ながら市の運営がいかにうまくいっている</p>

議 事 の 経 過

発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>かということをおある程度我々として認識をして、それに対して適切な報酬を適切な業務をされた方々に分配していくということを決めるしかないと感じましたので、この資料は大変精密なデータだと思うのですが、私個人としては、茨木市が今どうなっているか、それに対してこの特別職の方々がどのように働いておられるかということが、この裏に紐づけられていると、議論が進めやすいのではないかと感じました。</p>
北村会長	<p>ありがとうございます。佐名川委員もよろしければ。</p>
佐名川委員	<p>ただ今いろいろご説明いただきまして、少し持ち帰って、ゆっくり見たいと思いますので、本日はごさいません。よろしくお願ひします。</p>
北村会長	<p>ありがとうございます。本当にいろいろなご意見をいただきました。これから事務局のほうにお問ひ合わせいただいたらよろしいですよ。そういう形で必要な情報、例えば茨木市の通信簿みたいな形ですね、要するに、本当どうなっているんだこの街というものを見るための何か資料が欲しいということであれば、また言うていただければいいのかなと思います。私は総生産だったり、いろいろな指標が本当に上がっているのか、新しい市長になって、上がっていないのかなど、または、職員満足度とかマネージャーとしては重要なことだと思いますので、また見たいなと個人的に思っておりますが、そういうことも皆さんの中からもリクエストいただければと思っておりますのでございます。</p> <p>それでは、1回目ということで、このような形でお話ししていただいて、2回目は肩を慣らして皆さん来ていただければと思っておりますのでございます。それでは、2回目以降の会議日程について、事務局から説明をお願ひしたいと思ひます。</p>
事務局	<p>[日程説明] [閉会]</p>